

2022年2月21日  
株式会社 A D E K A

## 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同

株式会社 A D E K A（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、このたび、気候関連財務情報開示タスクフォース（以下「TCFD」）の提言に賛同することを表明しました。

A D E K Aグループは、2021年4月からスタートした中期経営計画『ADX 2023』において、カーボンニュートラルをはじめとする新しい社会ニーズを捉え、社会価値と経済価値の双方を追求することにより、持続可能な社会の実現とさらなる企業価値の向上に取り組んでおります。

世界的に脱炭素社会実現への取り組みが加速するなかで、当社グループは特に環境面において CSR 優先課題として掲げる「地球環境の保全（温室効果ガスの排出削減等）」「環境貢献製品の提供」を積極的に推し進め、サプライチェーン全体での環境負荷低減に貢献してまいります。

今後は TCFD 提言に沿って気候変動が事業活動に与える影響を複数のシナリオに基づき分析・評価し、対応策を策定・管理していくとともに、これらの取り組みをステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えできるよう、情報発信・開示の充実を図ってまいります。

以 上

### ■気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）について

G20の要請を受け、金融安定理事会（FSB）が2015年に設立。2017年6月に最終報告書を公表し、企業等に対して気候変動による影響を分析・評価したうえで、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4項目について開示することを推奨しています。詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://www.fsb-tcf.org/>



### ■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社 A D E K A 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803